

【記者からの質問】

新型コロナウイルス感染症について

共同通信／首都圏に加えて、北海道、中京圏、関西圏への移動自粛の判断に至った理由や現状認識を。

知事／東京が減らないことを危惧していた。Go To などでの人の行き来があり、東京だけでなく首都圏、近畿圏、中京圏、札幌で感染が広がり危惧している。

福岡県の感染者が20～30人で、抑えられていると認識している。佐賀県は、最近数件で家族関係ばかり。家族は感染しやすく、抑えてはいるが数字として大きくなってしまふ。その観点から、第3次感染で広がっている地域への往来は、この3連休はやむを得ない場合を除き、できるだけ自粛してほしい。

一方、九州内は全国に比べ落ち着いている。この3連休は県内、もしくは九州内への往来は、感染予防をしっかりと行いながら過ごしてもらいたい。

県民の皆さんは、こちらの情報を参考にして過ごしてほしい。

共同通信／国に対して、コロナ対応、経済支援策について意見や要望を。

知事／国が示すべきことは、科学的分析を含めた現状の提示。第1次、第2次と違う問題点や、あるいは問題がないので Go To トラベルは大丈夫だと。また、ある程度受容しながら社会経済活動を前に進めていくとか。そういうメッセージがあれば、分かりやすい。

国には、コロナ対策の大局観を出してほしい。その上で、各知事が地域の実情を踏まえ、県民に呼びかけるという形がいいのではないか。

新幹線西九州（長崎）ルート関連

共同通信／国交省が北陸新幹線の金沢－敦賀間の開業が1年半遅れる見通しを示した。新鳥栖－武雄温泉の議論にも時間的な猶予ができたという見方に対する考えは？

知事／北陸新幹線の話は衝撃を受けた。建設費が昨年2,260億増え、さらに今年2,880億円増えると。平成24年の認可時に1兆1,860億円で、現在1兆7,000億円、つまり143%増。新鳥栖－武雄温泉間は、6,200億円になり、佐賀県負担が660億といわれている。新幹線はいろんな要素が重なり、高い金額へと変わっていく先が見えないもの。

佐賀県が問題にしているのは、特急が激減し在来線がどうなるかということ。財源、ルート、地域振興もあり、短期間に決められるものではない。まして、北陸が延びたからどうこうという問題でもない。

佐賀空港の自衛隊使用要請関連

共同通信／漁協は防衛省による地権者説明会の開催をノリ漁期後と決めた。開催の調整などするのか。

知事／地権者説明会は、漁業者、非漁業者ともに今期のノリ漁期後、なるべく早い時期に行うと決め、具体的な日時は今後調整することを確認した。

県として、日程調整に必要な協力をしていく。

サガン鳥栖

西日本新聞／サガン鳥栖の運営会社が、本年度は10億円の赤字を発表した。竹原会長は行政の支援が必要と述べたが、県の支援策は？

知事／新型コロナの影響で地方クラブは、厳しい状況だと思う。サガン鳥栖は、県民にとって夢と希望であり誇りでもある。ただ、お金を渡すことだけが支援ではない。さまざまな支援策が考えられる。

球団側の検討を踏まえ、県として最大限の支援をしていく。

大宰府市での暴行死事件について

西日本新聞／基山町女性の暴行死事件について。県民から県警の対応を疑問視する声がある。知事の所見を。

知事／お亡くなりになられた方、ご遺族の方々に心からお悔やみを申し上げる。

県警と我々は、別の独立した組織。信頼される警察として対応をしてほしい。本日、午後に本部長が出席し定例会見が予定されている。本部長からお話があるだろう。

西日本新聞／この事件で、県警は署員からは聞き取りのみで調査結果を取りまとめた。さらに、本部長はコメントを出していない。このような対応を同じ行政機関としてどう思うか。

知事／同じ行政機関とはいえ、独立した機関がそれぞれの考えの中でやること。私がコメントするのは不適切だと思う。

佐賀誓いの鐘について

STS／11月補正予算の「佐賀の誓いの鐘」は、800万円ちかくの予算で鐘を製作し県庁舎に設置するもの。この政策の意義と目的を。また、発案は知事なのか。税金で製作し設置することについて聞きたい。

知事／この発案は私自身。県民を差別して隔離施設に入れた事実を反省し、毎年、恵楓園に行き話を聞いている。その中で、出所するときに鐘が鳴り、残った人はいつか出られるかもしれないと思いその鐘の音が希望だった。しかし、今は錆びついて聞くことができないと聞いた。ハンセン病に対する過ちを猛省し、それを県民と共有したいと考え「希望の鐘」の費用を支出した。

新型コロナウイルスの影響で、多くの小学生が県庁へ見学に来る。子どもたちには、差別をしないお互いをいたわり合える人になってほしい。見学のバスに乗る前に鐘があることで、ハンセン病の歴史や佐賀県がやってきたこと、現在の新型コロナウイルスへの誹謗中傷への警鐘になるのではないかと思う。そんなことを子供のころからわかってほしい。

これから多くの子供たちが、鐘を見ることになるのかと考えると、決して高い費用ではない。鐘の音を聞くことで、自分たちがやってきたこと、これからやるべきことを考えられれば大きな導きになるのではないか。

新幹線西九州(長崎)ルート関連その2

佐賀新聞／山本幸三委員長が佐賀県の負担軽減の試算をすると述べている。また、JRと国が在来線についての協議を開始するとも。これらの所感を。

知事／検討委員会が開かれるとしか聞いていない。いろんな議論があるのはいいことだし、新しい話は、しっかり聞いていきたい。

佐賀空港の自衛隊使用要請関連

毎日新聞／空港周辺の住民説明会を九州防衛局長がキャンセルした。その対応についてどう思うか。

知事／事業主体である防衛省が、地元の地権者に向き合う方法が極めて大事だと思っている。局長のキャンセルの理由はわからないが、お願いをするのであれば、できる限り膝をつき合わせて真摯な態度で地元に向き合ってほしい。

新型コロナウイルス感染症について その2

朝日新聞／新型コロナウイルスで、内閣府からの臨時交付金3億が分配された。財務省は、コロナ対策に使われているのか疑問視している。「佐賀の誓いの鐘」も交付金が充てられる。交付金の使い方の考えを聞きたい。

知事／コロナ対策としてどうしてもやりたい事業があったとき、臨時交付金が充当できればそれを充てる。内閣府がそれは違うといえは一般財源でやるしかない。しかし、できる限り国の交付金で充当していく姿勢で臨んでいく。

予算の見積もりだから、財源が変わることもある。経緯の中で、振り替えることもよくある。コロナ交付金を充てようとしているものは、コロナ対策として必要な予算だと思ってやっている。